ＰＨＰ新書「地震予報」読者の皆様へ
No.１７７８長期継続大型地震推定前兆
原稿校了後の前兆変化についての続報

続報 No.２９５

2021.03/21 （日 曜）16:00 発表

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1　研究室 FAX 0551-38-4254

参考： 3/20 宮城県沖 M6.9 中規模地震発生 3/7 K6-BF 極大前兆変動 対応地震 規模推定若干小さかったが、予測ほぼ成功

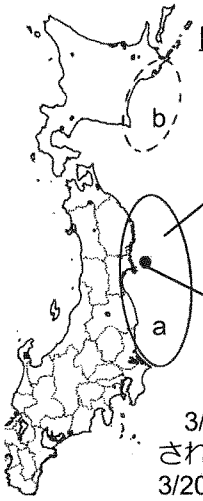


図１ 推定領域図（海域推定）
3/11配信No.3228観測情報掲載

推定：海域地震 a または（b）領域
M6.3±0.5（M6.8まで）
3/20±4　発生推定
Tmap=13日（プレート境界型）

実際：3/20発生　宮城県沖
M6.9-59km（最大震度５弱）
震源情報：気象庁

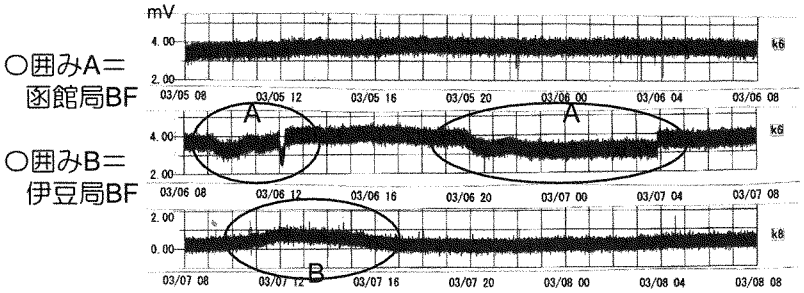
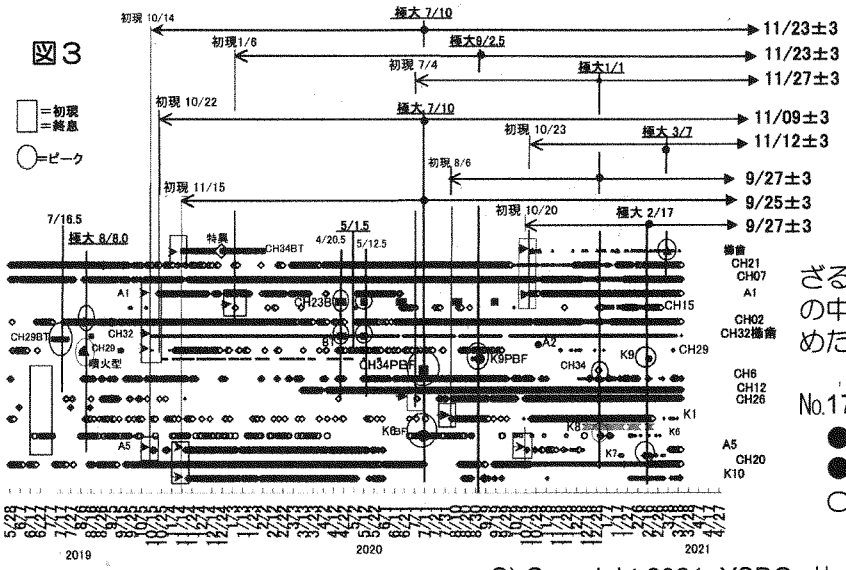


図２ 高知観測点K6-BF 3/7極大　3/9配信No.3227観測情報掲載

3/9配信のNo.3227観測情報で、図２ 高知観測点K6-BF を掲載し、03月07日極大でBF地震前兆変動が観測されたことを報告致しました。続報となる3/11配信のNo.3228観測情報では、発生推定日＝3/12±　または3/20±4を推定。図１の楕円海域 a または b 領域を推定。M6.3±0.5の可能性を配信。プレート境界型の遅いTmap=12.5±4で3/20±4を推定致しましたが、良好でした。函館局の他、伊豆局のBFも綺麗に観測され、図１のa 領域の可能性が考えやすかったのですが、一応、伊豆局ではなく洞爺局BFの可能性も考慮し、b 領域も記しました。No.1788前兆変動が多数観測装置に出ている関係でK6のBFからだけのため推定領域は若干大きくなりました。領域、発生時期は良好でしたが、規模の推定がM0.5ほど小さく評価されました。2/13発生の福島県沖地震の際も規模推定がM0.5ほど小さく評価されています。ＰＢＦ前兆はM0.3以内の誤差で推定できていますが、ＢＦ前兆はやはり誤差が大きい様です。但し若干小さく評価されていますので、今後は考慮します。

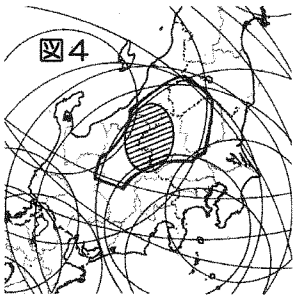
※本ＨＰではＰＨＰ新書に記した長期継続前兆No.1778の続報しか載せられません。他の地震発生予測は、e-mail またはFAXで日々配信しております地震前兆検知観測情報でのみ公開しております。本年に入って検知可能地震として推定した地震は2/13発生の福島県沖M7.3地震と今回の宮城県沖地震M6.9のみです（3/11までの推定）。他は検知可能地震発生はありませんと報告し、実際も検知可能地震の発生はありませんでした。相関は極めて良好です。是非皆様、観測情報配信にご参加戴ければ幸いです。地震発生に対し備えられます。参考としてご報告致しました。

No.1778 続報　発生時期 ３種の可能性を検討中



No.1778長期継続前兆の続報です。前兆変動継続状況は左図３のとおりです。3/7の櫛歯変動（地殻地震前兆変動）のやや顕著を小ピークと認識しますと、昨年10/23から櫛歯変動が出現開始していること、秋田観測点A１も同じ昨年10/23から出現開始となっていること等から、本年11月12日±発生の可能性も否定できず、現状３種の可能性を検討せざるをえません。今後の前兆変動終息観測で、３種の中から実際の発生時期を決めたいと考えます。

No.1778長期前兆からの推定
- ●推定領域：図４斜線域
- ●推定規模：M7.8±0.5
- ○推定地震種：震源浅い地殻地震（火山近傍）



C) Copyright 2021 YSBO 八ヶ岳南麓天文台